

進捗報告書（実行団体）

Version 1.0

2021年9月29日

事業名:	日常生活を奪われた全ての人へ
資金分配団体:	公益財団法人信託資本財団
実行団体名:	一般社団法人和音ねっと
実施時期:	2021年5月～2022年2月
事業対象地域:	京都府京都市
事業対象者:	子供からお年寄りまで

I. 事業概要

事業概要

コロナ禍における地域活動が制限される中、コロナにおける新たな社会的孤立が問題となっている。また、人間生きていく為に最低限必要な権利や保障が蔑ろにされる危機的状況である。特に弱い立場の人々へのしわ寄せは一段と増し、生きる希望も夢も語れる状況にない。特に公的支援に該当がボーダーであるがゆえに、「コロナ禍で日常生活を奪われた全ての人」への支援は必要不可欠であると思ひから、①ひとり親家庭②コロナウイルス感染症による陽性者家族が入院や宿泊施設等で生活を余儀なくされ、残された家族の方々への支援（一時預かり宿泊保護事業・公的支援へ繋ぐ為の生活相談支援事業・食料支援等）に取り組みたい。

II. 進捗報告の概要

総括

- ① 学習支援活動＝ひとり親家庭の子供達を中心に利用人数は一日平均5人～10人。6月から週1回の学習支援であったが、子供達のニーズが高まった事もあり、7月より週2回、夏休みは子供食堂と抱き合わせで実施。コロナ禍における学習の遅れ、元々学校へ行けない不登校児、発達障害を抱えるなど複数の課題を抱える子供達に対して、学生による学習支援は個々の状態像に合わせた支援を作りながら取り組んだ事により、遅れていた学びを少しずつではあるが解消しつつある。また、学生自身における教育実践にも繋がっている。
- ② 子供食堂活動＝6月より隔週日曜日の開催でスタート。7月22日～8月24日まで夏休み期間中の子供食堂、合計32日間開催。一日利用人数平均10人～15人、利用する子供達の半数がひとり親世帯、ヤングケアラー、発達障害等複数の課題を抱えている子供達。学生スタッフによる学習支援と遊び相手、一緒に掃除や調理に取り組み食育活動を実施。ピアノでのリズム体操・遠足・夏祭りなどにも取り組んだ。また、保護者との連携を図る為、定期的な親子カウンセリングの開催や教育懇談会開催を図るなど、現在抱えている課題について情報共有するなどの取り組みを行っている。
- ③ 食料支援等活動＝6月より生活困窮しているひとり親世帯等含めた食料支援等を実施。お米や野菜な

どを中心に配布。地域や協力頂いている企業から少しではあるが物資による寄付なども併せて配布し、教育・就労・等含めた生活相談も他の法人と連携を図りながら対応している。また、生理の貧困問題に対しては、社会福祉協議会からの委託で、女性用品の配布を相談事業と共に行っている。

- ④ 一時預かり保護事業活動＝賃貸マンションでの緊急避難（月2組世帯の利用）コロナにおける自宅隔離が困難な世帯における支援活動。安否確認見守り活動を実施。不安に寄り添う事での安心感や、専門職による相談を行っている。

III.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<p>コロナ禍で日常生活を奪われた全ての人へ、切れ目なく継続した支援が行える。①ひとり親家庭の子ども達の学びの保障（学習支援+食事提供）②一時預かり保護事業利用者への支援。</p>	<p>計画通りに進んでいる。定期的に学習支援と食事提供を実施。 予想以上にニーズが多い事に驚きと共に、貧困が齎す子供への成長発達への阻害を痛感している。また、コロナ禍における自宅療養者と陰性者の隔離の難しさ、短期間でも生活が安心して送れるように支援を図りたい。</p>

活動	進捗状況	概要
学習支援活動	計画通りに進んでいる	ひとり親家庭の子供達を中心に利用人数は
子供食堂活動	計画通りに進んでいる	(延べ180人)
食料支援活動等	計画通りに進んでいる	6月より隔週日曜日の開催でスタート。 (延べ360人利用)
一時預かり保護事業活動	計画通りに進んでいる	6月より生活困窮しているひとり親世帯等含めた食料支援等を実施。 (延べ200世帯利用) コロナにおける自宅隔離が困難な世帯における支援活動。(延べ8世帯)

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<p>コロナ禍とは言え、予想以上にニーズが多い事に驚きと共に、全世代への貧困問題が深刻であると痛感している。この事業継続を次年度も行うに当たって、現在は、地域との関係作りや他の団体との連携、地元企業への働きかけを行っている。同時に、次年度の助成金申請等も開始。遺品整理等の事業などについては、不定期ながらも事業収入として大口の収益となる為、学習支援や子ども食堂の運営費には欠かせない事から、引き続き事業は継続して行く。自助や共助だけでは解決できない課題も多く潜在化している事については、今後の活動において検証し、提言する活動は必要であると捉えている。</p>

V. インプット

		2020 年度	2021 年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥9777950	¥0	¥3616975	37%
	管理的経費	¥0	¥222050	¥0	¥162500	64%
合計		¥0	¥10000000	¥0	¥3779475	37%
補足説明						

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

新型コロナウイルス感染症による感染拡大の影響で、地域交流スペース café あずまを中心とした居場所での取り組みでは、当日アルバイトには来ていませんでしたが、学生スタッフの感染者が出た事は残念でした。

引き続き感染対策を徹底して事業継続を行います。

食料支援に関しては、希望者ニーズが多く、地域交流スペース café あずまだけでは対応しきれないものについては、他の支援団体に繋げるなどの工夫も今後事業を行う上では必要であると認識しており、他の支援団体との連携も必要。

VII. その他

自由記述

この夏、子供達とあずまに通う人達の共同で、café あずまの歌を作りました。

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等)	有	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都新聞 ゴールデンウイーク子供食堂掲載 ・ 上京区在住 イラストレーター吉田ゆうすけさん Twitter で、子供食堂を紹介 ・ GG 物語で、café あずま紹介 ・ 上京区社会福祉協議会・ウイングス京都・中京いきいき活動センターにて広報あり。 北野商店街にて、子供食堂のチラシを店舗で貼って下さる。 ・ 北野商店街からの依頼で、京都府子育て支援事業に café あずまを登録。

広報制作物等	有	・学習支援&子ども食堂 (ゴールデンウィーク+夏休み) 2000枚 ・地域交流スペース café あずまチラシ 2000枚
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	定期的に開催	社員総会 年1回開催 理事会 年3回開催
2. 内部通報制度は整備されていますか。	整備されている	JANPIAの窓口を利用